



東北大学医学部

後援会会報

No. 11
2013.7

発行: 東北大学医学部後援会
編集委員会 平成 25 年 7 月

新入生を迎えて～保護者・学生の皆様へ～

東北大学医学部長・医学系研究科長

大内 憲明



新入生並びにご父兄の皆様、改めまして東北大学医学部へのご入学おめでとうございます。

東北大学医学部は、明治 5 年（1872 年）の宮城県立医学所の設立から 141 周年を迎えました。現在、卒業生は 1 万人を超えて日本の医療を支えるとともに、世界に通用する医学研究を推進し、人々の健康・福祉の向上に寄与しています。

私どもは医学に対する強い探求心を育み、常に高い目的意識を持ち、問題提起及び解決を成し遂げる事ができる人材育成を目標としています。

東北大学医学部の特徴は、第一に実力に裏打ちされた個性溢れる教授陣によるきめ細かい教育が挙げられます。第二に旧七帝大（東京大学、京都大学、東北大学、大阪大学、九州大学、北海道大学及び名古屋大学）の中で、唯一の 1 県 1 大学医学部として、教育・研究・診療（地域医療を含む。）の全てに責任を持ち、実行していることです。

今後、高度医療技術の開発とその臨床応用が益々重要になり、東北大学医学部はその医学教育・研究の中核としての存在感をさらに高めることになるでしょう。今、柔軟で広い視野と豊かな感性、倫理性を持ち、自由な発想力から既知の壁を越えることができる若者の活躍が求められています。

学生生活は始まったばかりですが、医学科では 6 年、保健学科では 4 年、さらに大学院進学を目指す方は長期間の学園生活を過ごすことになります。

従いまして、学業と共に心身の健康・鍛錬も重要になります。「よく学び、よく遊べ」をモットーに豊かな学生生活を送られることを期待しております。

これから医学を志す諸君は、困難な課題の解決を目指すべく「志（こころざし）」をもって、医学・医療のプロフェッショナルである私どもと共に必ずや解決策を見つけてくれるものと確信しています。

東北大学医学部生の皆様を後援会は応援しています。

東北大学医学部後援会会長
（東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野）

堀内 久徳



東北大学医学部後援会は、東北大学医学部医学科・保健学科の学生の皆様がよりよい学生生活を送れるように支援することを目的として、5 年前に設立されました。平たく言えば、ご父兄の皆様のご支援によって運営される PTA のような組織です。ご父兄の皆様の継続的なご支援を賜り、東北大学医学部の学生の皆様の将来のご発展に寄与できればたいへんありがたいと考えております。ご父兄の皆様にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、本後援会は、東北大学病院の業務支援を行っている財団法人辛酉会（しんゆうかい）からも大きな支援をいただいております。平 則夫理事長はじめ辛酉会の皆様には厚くお礼申し上げます。

本後援会は、設立当初より 5 年間に亘り、医学部法医学教室教授、舟山 真人先生に会長をお務めいただき、この後援会の発展にご尽力いただきました。ここに深謝申し上げます。私は、舟山 先生の後を引き継ぎ、平成 25 年 4 月より会長を拝命いたしました。微力ではございますが、後援会の益々の発展に尽くす所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、東北大学医学部後援会は、4 月に新入生入学記念祝賀会を主催しております。多くの新入生及びご父兄の皆様や教員の参加を得て、入学時のすばらしい交流の場を提供させていただけており、大変嬉しく存じております。

後援会は図書館医学分館に学生用のいろいろな教科書を揃える援助も行っており、学生の皆様にはよく利用していただいております。

医学科及び保健学科の学生の皆様の卒業時に開く謝恩会への援助も行っています。

また、年に2回、この後援会会報を発行して、ご父兄の皆様がたに東北大学医学部の現況をお知らせしております。

さらに、古くなった医学部のある星陵キャンパスの生協の建物ですが、近々に生協・学生会館を新しくできれば、という計画がございます。後援会ではそこでも何らかの支援を行いたいと考えております。

2年前の震災では医学部の多くの建物も傷みました。改修が終了した建物も多いですが、現在は医学部3号館が改修中です。一方、被災地医療の復興と東北医療の活性化を目指す東北メディカルメガバンク事業が始まりました。そのなかでは研究も組まれており、その研究によって、初めて、日本人における種々の疾患に寄与する遺伝子が明らかになるであろうと大きな期待が寄せられています。現在、医学部構内では、メディカルメガバンクの研究棟の建設が盛んになっています。

大学生は「自由だ」といいます。自由というのは、責任を伴いながらも何でもできる、何をしてもいいということです。一方、医学部学生の皆様は将来的にプロフェッショナルになりますが、その過程で、自分の専門に集中するというギアチェンジをする時期が来ます。その時期は学生の間に来るかも知れませんが、卒業後かも知れません。医学部学生の皆様には、そのあたりに置いていただきながら、思いきった学生時代をここ仙台でエンジョイしていただきたいと思います。後援会は医学部学生の皆様に応援・支援しています。

るーぶる仙台(観光バス)



仙台市中心部の観光スポットを巡る循環型観光バス、レトロなバスでゆっくりと自分の時間を過したい方に便利です。

保健学科の教育環境整備について

医学部保健学科長 塩飽 仁

保健学科の講義室があるA棟は2006年度に改修されました。当時、教育機器のプロジェクター等は最新のものを導入しましたが、丸6年が経過し、特に使用頻度が高い第1講義室及び第2講義室での授業では、備付のプロジェクターがランプの交換等の調整をしても投影資料本来の色や形をクリアに再現できないという状況にいたっておりました。

また、大学院保健学専攻の設置に伴い、保健学科棟で学ぶ大学院生も増加し、ゼミ等のために第2演習室を使用することが多くなりましたが、スクリーンとプロジェクターがありませんでしたので、なんとかならないかとの声が多く聞かれるようになっておりました。

そのような状況から、医学部後援会に教育設備の整備についてお願いしましたところ、第1講義室及び第2講義室に液晶プロジェクター2台、第2演習室に液晶プロジェクター1台と

手動式スクリーン一式のご支援をいただきました。早速、平成25年度第1学期から最新機器を使用して、より充実した授業やゼミを実施しております。この度はご支援をいただきありがとうございました。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。



寄贈されたプロジェクター



寄贈されたプロジェクターを使用しての授業風景
(保健学科第2講義室)

平成24年度医学科3年次基礎医学修練発表会について

医学科運営委員会 委員長 笹野 公伸

医学科3年次基礎医学修練発表会 実行委員会委員長 十亀 彩

平成24年度医学科3年次の基礎医学修練発表会を、去る、3月7日(木)、8日(金)の2日間行われ、基礎医学修練の4か月間に取り組んだ研究の成果を発表し討論

しました。学会形式で行われた発表会には、3年生の他にも多くの2年生や教員の方も来場し活発な議論が交わされ盛況でした。



発表会の様子

今年度も奨学金で海外留学を行った学生による英語での発表・質疑応答が行われました。海外の研究室で同級生が行ってきた研究内容を知ることは、海外に目を向ける良い機会でした。さらに、学会の形式に準じた抄録集の作成を実施し発表内容を皆で共有することはとても意義深い経験になったと思います。

発表者は昨年度より増加し、口演 52 演題、ポスター 14 題が発表されました。これにより 1 人あたりの発表時間が短縮されましたが、発表内容の密度は高く、質の高い議論がなされていました。ポスターセッションでも多くの学生が参加し時間が足りなくなるほど活発な質疑応答がなされていました。



優秀者表彰式



熱心な聴衆学生

今年度の基礎医学修練発表会も多くの方々のご支援・ご協力により無事に終えることができました。特に、医学部後援会のご支援により運営に要する費用などの援助をいただき、質の高い有意義な発表会にすることができたと感じております。最後になりましたが、改めて多大なご支援に感謝申し上げます。



ポスターセッションの様子

医学部医学科卒業謝恩会の報告

平成 24 年度卒業生謝恩会代表

郷 愛太

去る、平成 25 年 3 月 27 日（水）、我々平成 24 年度医学科卒業生は、先生方や、職員の方、家族、友人、その他大勢の方々の祝福の中、晴れて東北大学を卒業いたしました。

今日まで私たちを見守り、育ててくださった全ての方に、心より感謝致します。お世話になった方々への感謝の気持ちを込めて、医学部後援会様のご支援のもと、卒業謝恩会を開催させていただきましたのでご報告申し上げます。

当日は卒業生 90 名、そして 48 名の先生にご出席いただき、会場となった江陽グランドホテルは大いに賑わいました。お忙しい中、ご出席いただいた先生方に心よりお礼申し上げます。

会は、佐藤 圭亮君の卒業生代表の挨拶で始まり、続いて、医学部長の大内 憲明先生から、「まだスタートラインに立ったばかりだ」との身の引き締まる激励の御祝辞を賜り、病院長の下瀬川 徹先生より「初期研修で全国各地に散り散りになっても、広瀬川に戻るサケのように、東北大学にまた戻ってきなさい」と、ユーモアにあふれる素敵な乾杯のご挨拶を頂戴いたしました。



星陵アンサンブルの演奏

会の中ほどでは、星陵アンサンブルの卒業生が、神経病態制御学分野・高橋明教授のチェロを迎えて、華麗な演奏を披露していました。さらに、在学中に奇術部に所属していた



清田 直樹君のマジックショー

清田 直樹君のマジックショーが催され、出ては消える鳩に会場は大いに盛り上がりしました。

最後は、里見 進総長よりご挨拶を賜り、一本締めで閉会となりました。卒業生がつくった花道の中を、少し照れながら退場される先生方が印象的でしたが、私たちの感謝の気持ちと受け取っていただければ幸いです。

4 月からは、社会人として新たなスタートを切りますが、東北大学で培った知識、技術、精神すべてを余すことなく発揮し、社会に貢献できる人間になれるよう、日々努力して参ります。

最後になりましたが、今回の謝恩会をはじめ、6 年間の学生生活を厚くご支援いただいた東北大学医学部後援会様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



懇談風景

医学部保健学科謝恩会の報告

平成 24 年度医学部保健学科謝恩会 幹事代表

高坂 緒里恵

去る、平成 25 年 3 月 27 日（水）、東北大学学位授与式が仙台市体育館にて行われ、その後の夕刻 7 時より、ホテルメトロポリタン仙台にて、平成 24 年度東北大学医学部保健学科謝恩会を行いました。

当日は、4 年間でお世話になった先生方、実習をさせていただいた病院・施設の方々など、大勢の皆様に御出席いただきまして心より感謝申し上げます。

また、この会を開催するにあたり、東北大学医学部後援会様をはじめとする多方面の方々より御援助をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

最初に、荒井 陽一副医学部長、保健学科長塩飽 仁先生より御祝辞と乾杯の音頭を賜り、謝恩会がスタートしました。保健学科の三専攻の学生は、講義や実習・卒業研究などさまざまな場面でお世話になった先生方・施設の方々に 4 年間の感謝の気持ちを伝えたり、学生生活の思い出話に花を咲かせたりしており、先生方との出会いや共に過ごした時間に改めて感謝の気持ちを抱いていました。



また、アトラクションとしてビンゴ大会が行われました。会場は非常に盛り上がり、大変楽しんでいただけたように見受けられました。

最後に、これまでお世話になった先生方に花束の贈呈を行い、これまでの感謝の気持ちを伝えることができましたと思います。

このような素晴らしい会を開催できたことをとても嬉しく思います。今後はそれぞれの道に進み、東北大学で学んだことと感謝の気持ちを胸に、日々精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、快く御協力いただきました医学部後援会様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



平成 25 年度医学部新入生オリエンテーションを開催しました

医学部医学科長

医学部保健学科長

笹野 公伸
塩飽 仁

去る 4 月 5 日（金）、本年 4 月医学部に入学した、新入生オリエンテーションを開催いたしました。

● **医学科では**、午前中に大内医学部長、下瀬川大学病院長の挨拶のあと、教育課程や学生生活等についての説明を行い、昼食時間に、新入生を 4～5 名の小グループに分け、アドバイザー教授の研究室で昼食を摂りながら、和やかな雰囲気懇談することができました。

午後は、小児感染症・B 型肝炎抗原抗体検査のための採血、医師のプロフェッショナルリズムに関する意識調査を実施しました。引き続き、総合地域医療教育支援部の石井 正教授から講演をいただきました。最後に、在校生によるサークル紹介を行い、教員・在校生全体で新入生を迎え入れることができました。

● **保健学科では**、大内医学部長のあいさつの後、午前中は学科全体のオリエンテーションに引き続き、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の 3 専攻に分かれて、専攻ごとのオリエンテーションを行いました。

その後、お昼に専攻ごとにチューター教員と新入生との昼食懇談会を実施しました。チューター教員とは、今後の学生生活で勉学のみならず様々な面で相談相手となる教員です。晴天の下、緊張





した面持ちで始まったオリエンテーションですが、昼食懇談会のお陰で、新しい学生生活などへの不安が大分解消されたようです。午後の情報セキュリティ講習会や、小児感染症・B型肝炎抗原抗体検査のための採血と時間が進むうちに、

新入生の笑顔が多く見られるようになりました。

例年、医学部後援会から昼食代等の費用のご援助をいただき、本当にありがとうございます。お陰様をもちまして

有意義な新入生オリエンテーションを実施することができました。



後援会主催の入学記念祝賀会を開催いたしました

後援会主催の事業として、平成 25 年 4 月に医学部（医学科、保健学科）に御入学された新入生とその保護者の皆様を対象とした「入学記念祝賀会」を、去る、4 月 4 日（木）午後 1 時から、仙台市青葉区の「江陽グランドホテル」において開催いたしました。



当日は、春間近の仙台、柔らかな暖かい一日に恵まれ、午前には東北大学全体の入学式が行われ、午後会場を移動して 500 名を超える参加者（保護者：229 名、新入生：250 名、在学生：9 名、医学部関係者など：50 名）があり大盛況で実施することができました。

最初に、大内 憲明医学部長の挨拶、堀内 久徳後援会会長から挨拶、御来賓の辛西会平 則夫理事長から御祝辞をいただき、続いて、後援会役員の紹介がありました。引き続き、尾股 健副会長による乾杯の発声後、祝賀パーティが賑々しく始まりしました。

その後、笹野 公伸医学科長及び塩飽 仁保健学科長から、学科紹介と歓迎のスピーチ、そして、医学科教授及び保健学科教授によるキャリアパス等の企画が行われ大好評で、楽しい歓談・懇親の会を過ごされたようです。

また、御参加いただきました保護者や新入生などの皆様から、温かな言葉をいただくことができました。また、初対面の新入生同志・保護者や大学関係者や在学生との顔合わせと交流ができたように思われます。

後援会としては、御参加された新入生や保護者などから好評を得た行事ではないかと思っております。今後とも、会員の皆様の温かい御支援をいただきますようお願い申し上げます。

医学部後援会・事務局



東北大学附属図書館 医学分館紹介

医学・生命科学関連資料・情報の拠点として

東北大学附属図書館医学分館は、主に医学部、歯学部の学生及び星陵地区の教職員が利用する専門図書館（年間利用者数、延べ20万人）として星陵キャンパス内に設置しています。



医学分館

前野良沢・杉田玄白らが翻訳した『解体新書』を、始めとする医学関係資料の貴重なコレクションも多数所蔵しています。

本医学分館は、大阪大学生命科学図書館、九州大学医学分館とともに、医学・生物系外国雑誌センター館として文部科学省から指定を受け、国内の未所蔵外国雑誌を収集して学内外からの文献複写の申し込みに応じています。



解体新書

医学分館は、大正4（1915）年に設置され、平成27（2015）年に創立百周年を迎える歴史ある図書館となります。医学関係の外国雑誌を中心に、国内雑誌、中文誌そして医学書、約42万冊を収蔵しています。

医学・生命科学関連の資料が必要な時は、受付カウンターにお申し出いただければ、保護者の皆様も利用可能です。毎年、学生用図書 of 充実の努め、学部学生の学習を積極的に支援しています。保護者の皆様も機会を設けぜひご利用願います。



2階閲覧室

【利用案内】

■ 所在地

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町1-1

TEL: 022-717-7979

■ 利用時間

医学部学生 / 7:00 ~ 24:00 (全日)

保護者・一般 / 9:00 ~ 20:00 (平日)

[3月と8月:保護者・一般 / 9:00 ~ 17:00(平日)]

■ 休館日: 土・日・祝日 (保護者・一般)、年末年始

■ ホームページ: <http://www.library.tohoku.ac.jp/med/>

編集後記

医学部後援会は、本年発足6年目を迎えました。会員の皆様、在学生、教職員の多くの方々に支えられ、後援会の趣旨に御理解いただき順調に活動できることを大変ありがたく感謝申し上げます。

さて、今後忘れることのできないであろう、2011年3月11日に発生したマグニチュード9.0の東日本大震災によって引き起された巨大津波、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、太平洋沿岸を中心として大きな人的・物的被害が出ました。この大惨事から、早いもので2年4か月を経過いたしました。東北大学にも甚大な被害が出ましたが、日本中ではもとより世界中から多大な御支援を得て復旧・復興が進みつつあります。

今春も、希望と夢に溢れた新入生が医学部に入学してきました。新入生の皆様の入学を心からお慶び申し上げ、入学後の学生生活の支援の一助を担えさせていただければと思っております。

本後援会は、学生への支援・助成活動などに積極的に取り組み、その活動状況については、後援会会報（年2回発行）により会員の皆様にお知らせし、学生、保護者そして本学部教職員との交流に努めてまいります。

平成25年度においても新入生保護者の多数の皆様に後援会に御加入いただきました。引き続き御理解・御支援いただきますようお願いいたします。

また、後援会のさらなる発展・充実のために、会員皆様からの御意見などをお待ちしております。御寄稿は郵便・電子メールで結構ですので、よろしくお願いいたします。

医学部後援会
事務局

仙台の牛たん定食



仙台は牛たん焼きの発祥地、香ばしい匂いと歯ごたえがあります。牛たんにテールスープ、麦飯の組合せが定番、仙台にて賞味してはどうでしょうか。



東北大学医学部後援会事務局

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

TEL: 022-717-7870 E-mail: med-koen@med.tohoku.ac.jp

<http://www.koen.med.tohoku.ac.jp/>